

◆ 第5回竜神地域会議 会議録 ◆

日時 平成30年8月28日(火) 19:00~20:45
場所 竜神交流館 大会議室
出席者 委員 : 17名(欠席3名)
事務局 : 野田支所長、下川副支所長、川合副主幹、
オブザーバー: 桜井市議、杉本市議、今吉竜神交流館長

- 次第
- 1 会長あいさつ
 - 2 竜神地域会議の予定
※【宿題】竜神ふれあいまつり等についての意見提出のお願い
 - 3 連絡事項
 - (1) 平成31年度地域予算提案事業について
 - (2) わくわく団体の見学について
 - (3) 脱メタボリンピック応援講座について(開催報告)
 - (4) 平成32年度地域予算提案事業の検討について
 - 4 協議事項
 - (1) わくわく事業地域ルール等について
 - (2) 健康講演会(12/9)の講師について
 - 5 その他

■議事(要約)

- 1 省略
- 2 竜神地域会議の予定について
〈事務局〉次回は竜神ふれあいまつり等について協議するため、宿題として事前に考えていただき、9月11日(火)までに支所に提出いただきたい。参考資料として昨年度の開催報告書を添付した。
- 3 連絡事項
 - (1) 平成31年度地域予算提案事業について
〈事務局〉前回の協議・決定した内容で計画書を修正し、地域振興部のヒアリングを受けたが、指摘事項等はなかった。そのため、この計画書をもって来年度の予算要求を行う。
 - (2) わくわく団体の見学について
〈事務局〉見学委員は一覧のとおり。名前のない委員については本日確認したので、あらためて提示する。一部の団体について日程等の記載がないが、日時・場所は決まり次第、見学委員に連絡する。
 - (3) 脱メタボリンピック応援講座について(開催報告)
事務局から、脱メタボリンピック応援講座の開催報告と脱メタボリンピックエントリー者数の報告。

(4) 平成32年度地域予算提案事業の検討について

会長から平成32年度地域予算提案事業調査チームの活動進捗について報告

- ・ 8月6日 第1回新規事業調査チーム会議の実施。
今後の調査方法等について協議。
- ・ 9月12日 区長会ヒアリング
新規事業(ポータルサイト案)及び地域課題について聞き取り
- ・ 9月15日 コミュニティ会議青少年健全育成部会に対しアンケート実施
新規事業(ポータルサイト案)及び地域課題について
⇒10月13日回収

4 協議事項

(1) わくわく事業地域ルール等について

事務局から、事前に委員から提出されたわくわく事業地域ルール等の意見について説明。その内容について協議した。

意見等

<委員> 品目の標準単価化については、これまでの経験から、妥当な値段が設定できるものについては価格設定をしたほうが申請段階での平等性が上がると考えている。その結果、各団体も決められた単価の範囲内に収める努力をしなければならなくなるので、全体の費用も抑えられる。

<委員> 大枠として花壇平米当たりいくらなどの設定は必要かもしれないが、花代1株いくらなど、細かく単価を設定する必要はないと考える。花の単価や種類がどうのこうののではなく、事業内容によっては、花を皆で植える行為が重要ということもある。補助金額は多くなるかもしれないが、その結果、地域が活性化する、この活動に賛同・参加する人が増えるなど、その活動のつながりや広がり期待したい。また、地域会議にもそれを評価してほしい。ネーミングが「わくわく」事業なのだから、その団体の人たちだけでなく、横に活動が広がっていき、地域の活性化が進むことが一番だと思う。

<委員> 申請書の金額と実績報告の金額が全く同じでないといけないのか。

<事務局> 補助金額内であれば、科目間での費用の移動は軽微なものであれば認めている。また、補助金額の減額についても同様である。

<委員> 単価を決めずに活発に活動をしたら良いという意見と、平等性を考えて単価を決めるという意見がある。どちらも正しいと思うが、このように地域会議で議論をするということが重要と考えている。

<委員> 印刷製本費について、もともと補助対象外であった実績発表会のポスター作製にかかる費用を、前年度の地域会議で竜神地域会議は補助対象とすると決定したが、その後の高岡4地域の代表者会議の協議で補助対象外となってしまった。そのため、竜神地域会議の地域ルールとすればよいと考える。そもそも、プレゼン発表からポスター発表になったのも、事務局からの指示である。

<事務局> 昨年度の代表者会議での協議について、わくわく事業実績発表会は4地域合同で実施しており、またポスターの作成についても事務局から模造紙を配布し作成方法は自由としている。そのため、一地域だけ補助対象として認めることや、外部印刷等で印刷製本費をかけている団体のみ認めることはできないということに決定した。

<委員> ルールを緩くしてほしいということについては、それぞれの団体は各地

域でそれぞれの思いや目的がある。それを地域会議が詳細まで理解することは難しい。地域活性のためには大きな目で見てもらいたい。

<委員> 花代について、東田フラワークラブの例をみても、単に環境美化ということではなく、地域活性、地域交流ということが含まれているため、上限は必要かもしれないが、一概に安い単価設定をするということは難しいかもしれない。しかしながら、各団体には費用を抑える努力や、その事業目的を明確にして説明してもらうことは必要だと考える。一方、審査をする視点だと、花の単価の価格設定があれば、審査はスムーズだと思う。

<委員> 花代などは価格ではなく、地域活性の視点から地域内で購入すべきと考える。

<委員> 飲料について 150 円の上限はあるが、団体により 50~150 円ぐらいの幅があるため、審査を容易にすることを含め、あらためて単価を検討しても良いのではないかと。また、作業をする際のお茶代と、健康事業の参加者のお茶代は目的が違うように感じるため、健康教室の参加者は自分でお茶を持参してもらい、補助対象として認めなくてもよいのではないかと。

備品購入費について、何かしらのルールを定めないとより高額なものへエスカレートする可能性があるため、上限等のルール設定が必要ではないかと。レンタルできるものは借りたらいと思う。

<委員> 高い備品は経年劣化や、団体が活動をやめてしまったときに処分に困る可能性があるため、団体がレンタルを検討するためにも、補助上限を決めるなど、よく検討する必要はあると思う。

<委員> それぞれの単価設定はしたほうが補助事業の運営上は良いと思うが、単価設定をしても補助金申請の段階でバラバラの金額で申請をするから問題が起こる。安い単価を設定して、一律の補助金申請をすればよい。

<委員> 地域活動をしているとお茶が出てくるが、持ってきている人もいる。お茶代を認めないなら、認めなくても良いと思う。作業だけを認めるということも良いと思う。高額な備品については、レンタルの可否で補助を認めるかどうかというルールを設けたらどうか。

<委員> 飲料については購入店舗や購入種類によって価格が違うから、事業の目的により団体が決めればよいと考える。備品についてはレンタルできるものはレンタルしたらよいと思うので、上限はあってもいいと思う。また、実績発表会のポスター作製費について、ポスター発表を指示するのであれば認めるべきだと考える。

<委員> 実績発表会に関わる印刷製品費は団体の事務費とはどういうことか。団体の活動の締めくくりが実績発表会のため、活動の一部と認めるべきである。

<事務局> わくわく事業は団体の活動に対して費用の一部を補助するものである。補助金の申請から実績発表までの一連の事務は、団体の経常的な活動の一部と考えている。

<委員> 印刷製本費は 2,000 円程度と、そんなに高いものでもないのに認めてもいいのではないかと。

<委員> 他の団体にかからない費用をかけるということは、団体の好みの問題もあると思う。

<委員> たくさんの団体がいる中で、よりよい発表を行うことで、他の団体も活動が分かりやすく活性化にもつながる。団体の PR にもつながると思う。

<事務局> 継続団体は、前年度の活動を受けて、今年度の活動内容を決定、申請書に記載すべきとの意見があったが、申請書については、地域会議の決定により、通常の様式以外に別の書類を添付させたり、申請書の記載内容を指示することができるかどうか。

<委員> 全ての継続団体にということではなく、ケースバイケースと考えている。審査会で全ての質問ができれば良いが、時間もない。そのため、例えば事前に申請書から質問事項を出し、団体に答えてもらうなど対応ができればよいと思う。申請書についてというよりも、審査会についてどうするかということに当たる。

<事務局> 4年目以降の継続についてはどうか。

<委員> 例えば、東田フラワークラブの活動は「わくわく事業」というよりも花植えであれば「花のあるまちづくり事業」のが適当だと思う。継続団体には、そういう様々な補助金を事務局から案内したらどうか。以前に西田町でわくわく事業補助金を利用して公園を整備し、その後は花のあるまちづくり事業で継続管理している。そのような発展性・自立性のある事業は良いと思うが、ただ継続している事業を認めるのはどうかと考えている。

<事務局> 以上の意見を事務局でまとめ、次回の定例会で決定する。

(2) 健康講演会（12/9）の講師について

委員から提出いただいた宿題の結果を事務局から説明。

決定事項

タニタの健康講座に講師を依頼する。タニタが不可だった場合は、藤田保健衛生大学の出前講座等と調整していく。講座内容については事務局に一任する。

内容等

<委員> 中京大学の先生やラグビーワールドカップの選手等はどうか。

<事務局> 今回の事業はメタボ対策となっているため、事業内容とつなげることが難しいと考えている。

5 省略

■次回の予定 9月25日（火）PM7：00 第6回定例会
場所：竜神交流館 大会議室